

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01648陸別町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
01648陸別町	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	小中学校ともに小規模校であるため、教員数が少なく、水泳指導や毛筆指導など、専門的な指導が必要な場合に外部講師への依頼が可能であれば、教員の負担軽減に繋がる。	小学校では水泳授業、書写授業、中学校では着衣水泳、家庭科（調理実習）について外部講師に依頼した。	昨年度の目標達成の効果を受け左記事業を継続した。	専門的な知識・技術・経験を必要とする授業を外部講師に依頼することで、教員の業務負担の軽減を行う	学校から外部講師の依頼のあった授業数に対する外部講師派遣の対応割合。	100	%	100	100	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 学校の授業での外部講師の依頼を受けたものに関しては達成できた。来年度も同様に進めていきたい。
01648陸別町	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	小中学校の児童・生徒を対象とした体験活動の充実。	中学校での「しめ縄づくり」、成果発表型の体験講座（ヒップホップダンス教室）を実施した。	前年度同様に自然体験・成果発表型体験講座を継続実施したが、自然体験については直営で行う。	学校の授業にはない体験活動の実施により、青少年の健全育成に資する。	各講座の参加者数の総数。	14	人	30	44	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる コロナ禍以降、各種体験講座の担い手が減少傾向にあり、少子化により参加者も減少傾向にあるが、体験学習の必要性から事業は継続し、新たな社会教育計画の方針に沿って講座数を増やすこととする。